

いじめ問題対策連絡協議会資料

明るく安心して学べる 学校づくりのために

～教育委員会の取組～

富士見市教育委員会

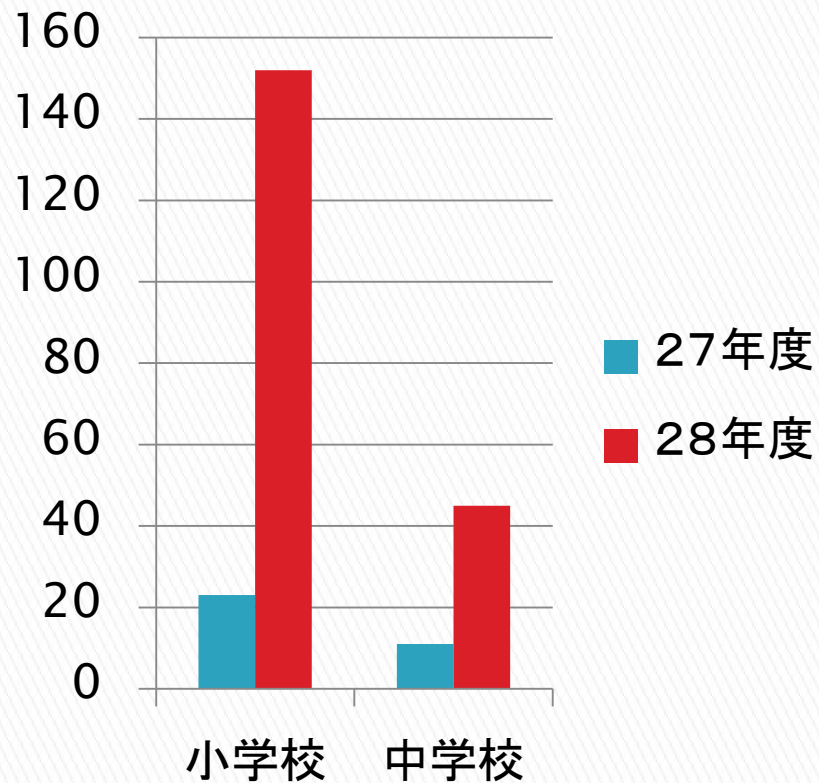
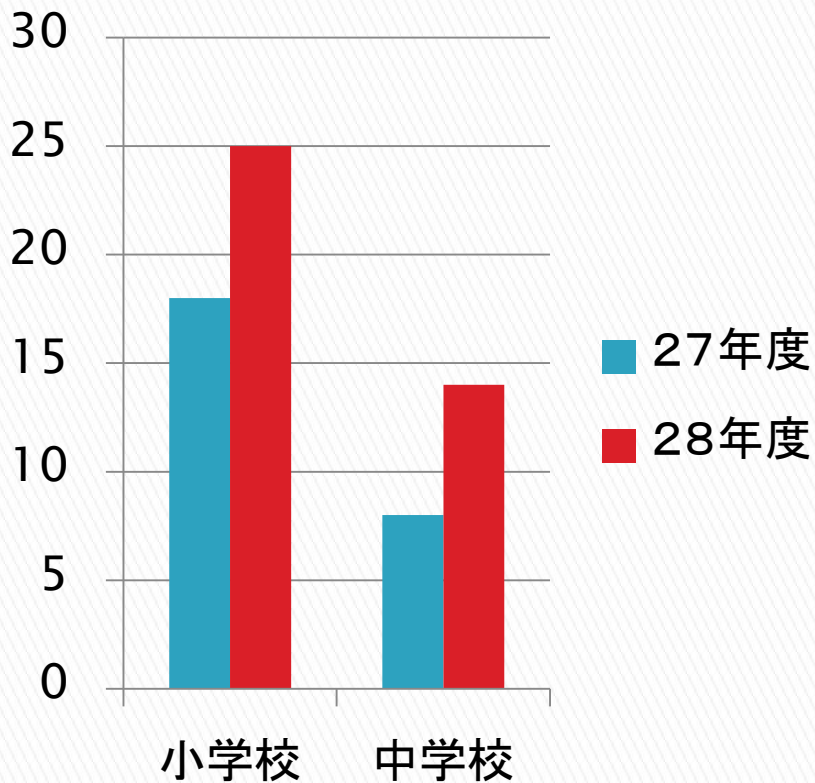
学校教育課

指導主事 廣井賢司

富士見市の学校は・・・

- ▶ 人口 約11万人
- ▶ 児童生徒数 8,445人
- ▶ 小学校 11校
- ▶ 中学校 6校
- ▶ 市立特別支援学校 1校

暴力行為・いじめの件数(1学期末)



暴力行為発生件数

いじめ認知件数

平成26年度文科省調査のやり直し

- ▶ 平成27年4月に26年度の調査を実施
- ▶ 平成27年7月5日 岩手県矢巾町で中2男子自殺
- ▶ ⇒いじめとして認知されておらず、組織的な対応不足
- ▶ 児童生徒の1000人当たりのいじめ認知件数
- ▶ 京都府・・・99.8件
- ▶ 福島県・・・ 1.2件 **その差約83倍**
- ▶ 埼玉県は・・・47都道府県中第40位の3.8件
- ▶ 実態を正確に反映していないのではないか？
- ▶ ⇒全国すべての学校で26年度のいじめの再調査

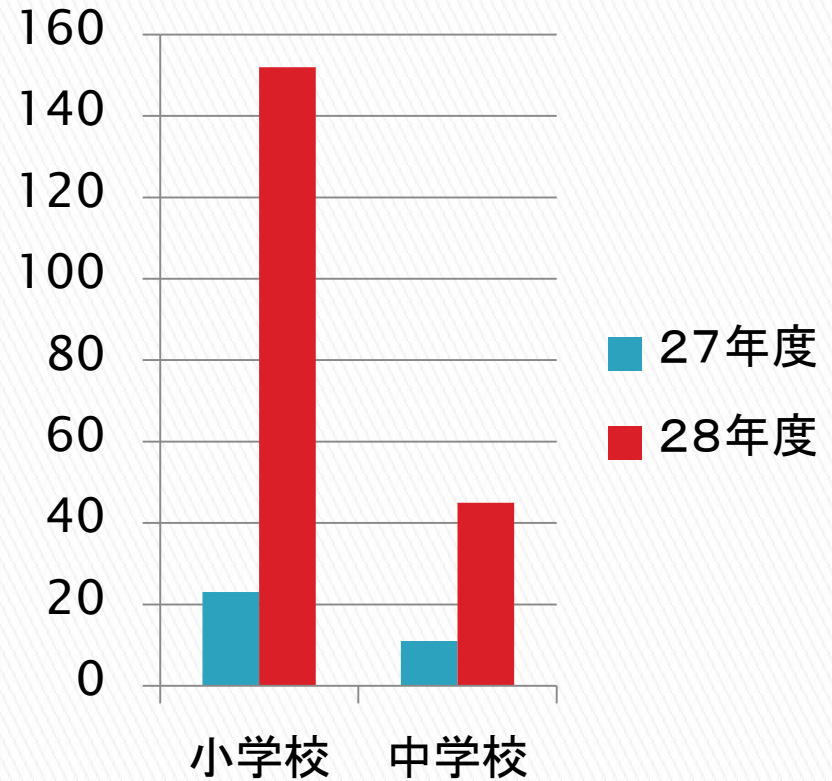
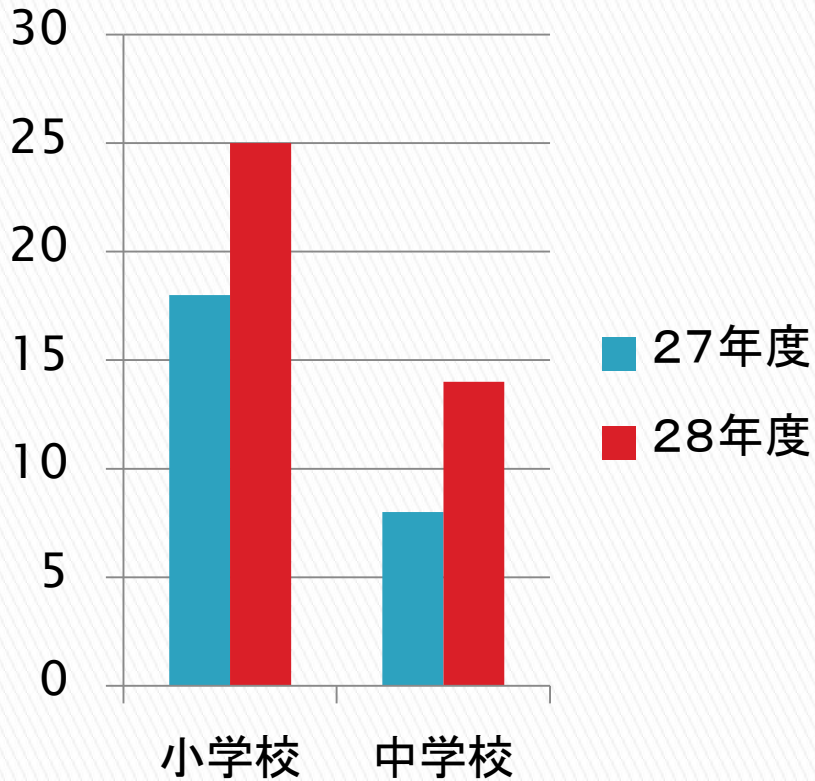
平成25年度 都道府県別 いじめの認知件数(国公立)

順位	都道府県	認知件数(件)	1000人当たりの認知件数(件)
1	京 都 府	28,118	99.8
2	鹿 児 島 県	14,240	72.0
3	宮 崎 県	9,452	71.5
4	宮 城 県	17,567	69.2
5	千 葉 県	20,446	31.2
6	大 分 県	3,496	27.1
7	和 歌 山 県	2,649	23.7
8	山 梨 県	2,254	22.4
9	山 形 県	2,712	21.4
10	熊 本 県	3,925	19.1
11	茨 城 県	4,706	13.7
12	愛 知 県	11,220	13.2
13	岐 阜 県	3,072	12.9
14	長 崎 県	1,955	12.1
15	静 岡 県	4,529	10.9
16	秋 田 県	1,115	10.6
17	福 井 県	855	9.2
18	栃 木 県	2,028	9.0
19	奈 良 県	1,298	8.2
20	東 京 都	10,073	8.1
21	神 奈 川 県	7,297	7.8
22	石 川 県	1,014	7.8
23	滋 賀 県	1,331	7.8
24	徳 島 県	578	7.1
25	高 知 県	540	6.9
26	青 森 県	968	6.6
27	北 海 道	3,669	6.5
28	岩 手 県	849	6.0
29	長 野 県	1,455	5.9
30	三 重 県	1,255	5.9
31	山 口 県	894	5.9
32	群 馬 県	1,307	5.8
33	富 山 県	686	5.8
34	新 潟 県	1,394	5.5
35	大 阪 府	5,021	5.2
36	兵 庫 県	2,829	4.6
37	岡 山 県	1,023	4.6
38	島 根 県	344	4.4
39	愛 媛 県	682	4.4
40	埼 玉 県	2,907	3.8
41	広 島 県	1,126	3.6
42	沖 縄 県	560	2.8
43	福 岡 県	1,441	2.6
44	鳥 取 県	157	2.4
45	香 川 県	270	2.4
46	佐 賀 県	238	2.3
47	福 島 県	258	1.2
	合 計	185,803	13.4

文部科学省の通知文より抜粋

- ▶ いじめは、社会性を身に付ける途上にある児童生徒が集団で活動する場合、しばしば発生するもの。
- ▶ どの学校においても、一定数のいじめが認知されるのが普通である。
- ▶ いじめの認知件数が多い学校について、「いじめを初期段階のものも含めて積極的に認知し、その解消に向けた取組のスタートラインに立っている」と極めて肯定的に評価する。
- ▶ 初期段階のいじめや、ごく短期間のうちに解消したいじめ事案(解消したからといっていじめが発生しなかったことになるものではない)についても遺漏なく認知件数に計上すること。

暴力行為・いじめの件数(1学期末)



暴力行為発生件数

いじめ認知件数

いじめの定義

- ▶ この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

▶ いじめ防止対策推進法 第2条

事例研究 いじめQ&A

①	冷やかし、からかい	
②	仲間はずれ	
③	軽くぶつかる 遊ぶふりしてたたく	
④	叩かれる 蹴られる	
⑤	金品をたかられる	
⑥	金品を隠されたり、盗まれたりする	
⑦	嫌なことをさせられる	
⑧	パソコンや携帯電話、スマートフォンで嫌なことを書きこまれる	

事例研究 いじめQ&A

Aさんは、同じクラスのBさんに、いきなり頭をたたかれた。

Aさんは泣きながら担任のところへ駆け寄り、「Bさんにたたかれた」と訴えた。

担任は、Bさんに事実を確認したところ、Aさんをたたいたことを認めたため、厳しく注意した。

AさんがBさんにたたかれたのは、後にも先にもこの日だけである。

事例研究 いじめQ&A

Bさんの行為はいじめに該当するでしょうか？

⇒ 該当する

この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う**心理的又は物理的な影響を与える行為**（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった**児童等が心身の苦痛を感じているもの**をいう。

いじめ防止対策推進法 第2条

いじめの未然防止のために

- ▶ いじめ防止条例制定(平成27年4月施行)
- ▶ 富士見市いじめ防止基本方針
- ▶ 各学校いじめ防止基本方針
- ▶ 富士見市いじめのない学校づくり委員会
(大学教授・NPO法人理事・弁護士・臨床心理士・人権擁護委員)
- ▶ 富士見市いじめのない学校づくり子ども会議
- ▶ いじめ防止対策推進委員会・生徒指導主任研修会
- ▶ 生徒指導訪問(年3回)
- ▶ 市内全小中学校共通「学校生活アンケート」の実施
- ▶ ピア・サポート事業

学校生活アンケートのリード文

- ▶ 毎日の学校生活では、人に嫌なことをされたり、言われたりすることがあると思います。このアンケートは、いじめをなくし、みんなが安心して学校生活を送れるようにすることを目的に行うものです。
- ▶ 先生以外は誰も見ませんので、今の学校生活のことについて、教えてください。

富士見市立学校 学校生活アンケート

富士見市教育委員会

() 年 () 組 (男 ・ 女)

毎日の学校生活では、人に嫌なことをされたり、言われたりすることがあると思います。このアンケートは、いじめをなくし、みんなが安心して学校生活を送れるようにすることを目的に行うものです。先生以外は誰も見ませんので、今の学校生活のことについて、教えてください。

※今の学年になってから今日までのことで教えてください。

		いまも続いている	あったが、いまはない	ない
1	無視されたり、仲間外れにされたりしたことがある。			
2	ひやかしやからかい、悪口や脅しなど、嫌なことを言われたことがある。			
3	自分の持ち物をかくされたり、勝手に使われたりしたことがある。			
4	お金をとられたり、持ってくるよう強く言われたりしたことがある。			
5	わざとぶつかられたり、遊びのふりをしてたたかれたり、けられたりしたことがある。			
6	そうじや当番をおしつけられたことがある。			
7	あなたの悪口をメールなどで送られたり、LINE やツイッターなどに書きこまれたことがある。			

8 あなたの友達で嫌なことをされて、つらい気持ちでいる人はいますか。

いる ・ いない

9 友達とのことや、クラスでのことなどで、先生に相談したいことがありますか。

ある ・ ない

このアンケートはクラスの様子を知らするために、名前を書いてもらっていません。先生からも声をかけますが、何か困ったことがあったら、いつでも先生に相談してください。

いじめの報告用紙(学校→市教委) ※様式3

秘 いじめの発生状況とそれに関わる児童・生徒について						(様式3)		
No.	発 生 期 間	いじめの様態	氏 名				学 校 の と っ た 措 置	現 状
			年組	いじめられた側	年組	いじめた側		
			担任名 ()		担任名 ()			
2学期の様子					3学期の様子			

いじめの記録(情報共有)用紙 ※様式3-2

(様式3-2)

平成27年度 ○○○学校 いじめ(「疑いのあるもの」を含む)認知一覧表

No.	発生日	いじめられた側		いじめた側		概要及び学校の対応	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;"> 解消..... 継続中..... </div>
		年	氏名	年	氏名		
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

様式3-2のただし書き①

- ・暴力・嫌がらせ・暴言等「これはいじめではない」と判断せずに、まずはすべてを認知し、記入する。
- ・この様式には、単発の行為であり、その場で指導が済むレベルのものを記入する。
- ・一番右の欄には「解消」か、指導の「継続中」を記入し、一定期間「継続中」が続く場合は、様式3に移行すること。
- ・共有フォルダーに入れるなどして、誰もがすぐに記入するように習慣づける。
- ・複数回継続して同様の事案がある場合や学校全体で取り組まなければならないような事案の場合は、様式3に記入し市教委生徒指導訪問などで報告する。

様式3-2のただし書き②

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」であり、

「一方的に」「継続的に」「多数で一人を」などは定義にはないことを認識する。

富士見市の生徒指導上の課題

暴力行為等のいわゆる「荒れ」よりも、

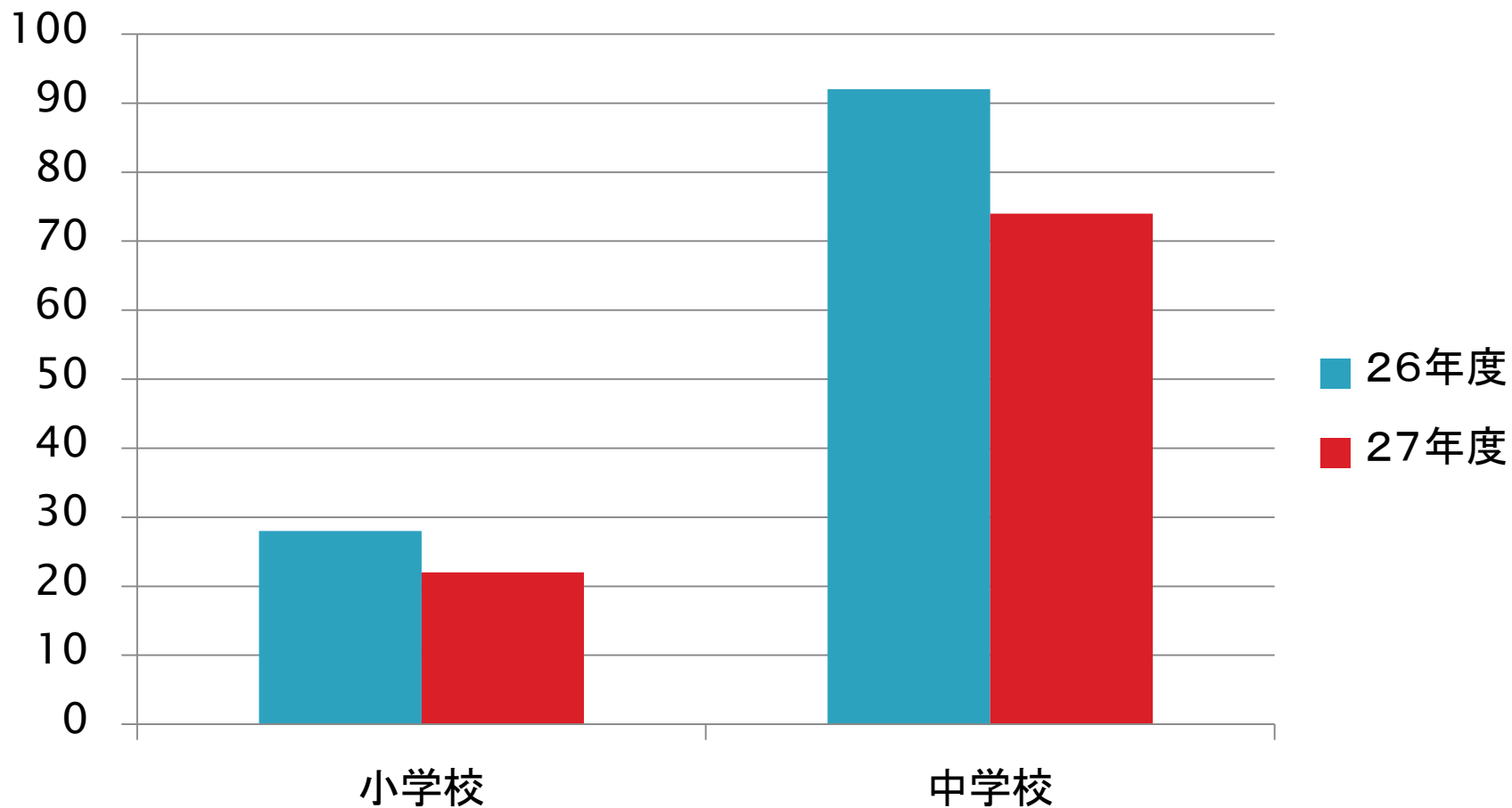
- ①いじめの未然防止
- ②不登校児童生徒の解消・未然防止
- ③健全な人間関係の育成

☆不登校出現率：(26年度)

小学校0.49人(県0.26人)

中学校3.40人(県2.26人)

不登校児童生徒数



ピア・サポート事業とは・・・

子どもの対人関係能力や自己表現能力等、社会で生き抜くための力が不足している現状を改善するため、各学校の実情に応じてピア・サポートの理念を浸透させる。ピア・サポートを取り入れた子ども同士の学びあいの場を設定し、得た知識やスキルをもとに相互の人間関係を豊かにするための思いやり支え合う実践活動を推進することでいじめのない魅力ある学校づくりを行う。

不登校の未然防止のために

- ▶ 教育相談体制の確立（教育相談室）
- ▶ 教育相談室による巡回相談（年3回）
- ▶ SSWの積極的活用
- ▶ 小中連携支援シートの活用
（紙上コンサルテーションの活用）

						平成	年	月	日
富士見市教育委員会									
教育長 森 元 州 様									
富士見市立 勝瀬 小 学校									
校長 富士見 太郎 印									

児童・生徒欠席数報告(4 月分)

下記の児童・生徒が今月3日以上、累積10日以上欠席しているので報告します。

記

1. 児童・生徒	氏名	南畑 花子		性別	女	学年組	2 年 2 組	
2. 保護者	氏名	南畑 太郎						
	住所	富士見市上南畑1317						
3. 欠席の状況	欠席の始期	平成	年	月頃より	今年度の欠席の始期	月	日頃より	
	今年度の欠席数	0	日	今年度のあすなろへの通室日数	0	継続	断続	
	今月の欠席数	0	日	今月のあすなろへの通室日数	0			
4. 主な理由	(1)不登校(いずれかに○)							
	ア 学校生活上の影響		イ 遊び・非行		ウ 無気力			
	エ 不安など情緒的混乱		オ 意図的な拒否		カ 複合(ア～オ)			
	(2)病気・けが(病名・症状名を記入するとともに、通院の有無について○)							
	[病名・症状名:][通院: あり ・ なし]			
4. 主な理由	(3)家庭の事情(いずれかに○)							
	ア 事故欠		イ 経済的理由		ウ 外国への帰国			
	エ その他()							
5. 指導の経過	(1)家庭訪問			あり		なし		
	(2)児童・生徒との接触			あり(直接・電話)		なし		

* 毎月5日までに提出すること。

* 4の主な理由については、「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」と同様とする。

* 欠席の始期とはその児童・生徒が欠席し始めた時期とする。中学校では小学校から長期欠席者の場合はその時期にさかのぼる。

小中連携支援シートとは・・・

小学校6年生を対象とし、小学校1年生までさかのぼり、欠席・遅刻・早退数で条件に当てはまる児童について「小中連携支援シート」を作成する。さらに、個々の「小中連携支援シート」に対し、大学教授等の専門家によるコンサルテーション(分析・助言)を加え、小中学校間での指導・支援の引き継ぎに活用し、小学校から中学校への進学時に増加する不登校の解消に努める。

【様式】(※平成26年10月31日現在)

取扱注意

<No. 富1- 1>

小中連携支援シート		6年 1組	出席番号 11	富士見市立〇〇小学校			
(ふりがな) 氏名	() 性別 男 ・ 女			担任氏名			
欠席状況 学年欠席日数	1年 19日 (あすなろ 日)	2年 34日 (あすなろ 日)	3年 35日 (あすなろ 日)	4年 53日 (あすなろ 日)	5年 153日 (あすなろ 日)	6年 87日 (あすなろ 日)	
	遅刻・早退 回数	4年 5日	5年 2日	6年 0日	校内別室登校日数 (保健室等)	4年 0日	5年 0日
【欠席(遅刻)がみられた理由・きっかけ】							
<input type="checkbox"/> 病気・身体の不調 () <input type="checkbox"/> 友人との関係の問題 <input type="checkbox"/> 学業上の問題 <input type="checkbox"/> 学校環境の変化 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭環境の変化 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 不明							
【登校に対する本人の意欲】							
<input type="checkbox"/> 積極的 <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input checked="" type="checkbox"/> 消極的 <input type="checkbox"/> わからない <input checked="" type="checkbox"/> 登校に対する保護者の意欲 <input type="checkbox"/> 積極的 <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input checked="" type="checkbox"/> 消極的 <input type="checkbox"/> わからない							
【学習への現在の意欲】							
<input type="checkbox"/> 積極的 <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 消極的 <input checked="" type="checkbox"/> わからない							
【行動や様子】							
<input type="checkbox"/> まじめ <input type="checkbox"/> おおむね意欲的 <input type="checkbox"/> 無気力である <input type="checkbox"/> 怒りをうまく収められない <input type="checkbox"/> 周りの刺激に敏感である <input type="checkbox"/> いつもおとなしい <input type="checkbox"/> いつもにこやか <input type="checkbox"/> 楽観的である <input type="checkbox"/> 興奮しやすい <input type="checkbox"/> 感情の浮き沈みが激しい <input type="checkbox"/> 落ち着きがない <input type="checkbox"/> いつもつまらなそうにしている <input checked="" type="checkbox"/> 他人の評価をととても気にする <input type="checkbox"/> 消極的である <input type="checkbox"/> 集団活動ではおどおどする <input type="checkbox"/> 嫌なことからは徹底して避けようとする <input type="checkbox"/> 集中が持続しない <input type="checkbox"/> 何か思い浮かぶとすぐ言動に表す <input type="checkbox"/> 安心できる人(大人・親友)から離れられない <input type="checkbox"/> 過度の甘えや依存がある <input type="checkbox"/> 相手の気持ちを理解できない <input type="checkbox"/> 集団に参加しない <input type="checkbox"/> 乱暴な言動がある <input type="checkbox"/> いじめ被害の経験あり <input type="checkbox"/> いじめ加害の経験あり <input type="checkbox"/> 校則違反を繰り返す <input type="checkbox"/> 虐待の通告をした <input type="checkbox"/> 心に傷を受けた経験あり(内容:) <input type="checkbox"/> 発達上の問題・困難(発達障がい等), その他身体面を含め医療機関から診断を受けているなどの申し出 (具体的に:) <input type="checkbox"/> 身体・成長について学校で配慮すべきこと ()							
【その他の登校時の状況】							
<input type="checkbox"/> 保健室によく行く <input type="checkbox"/> 校内相談室によく行く <input type="checkbox"/> その他 ()							
【学校生活での様子】							
【学習面での様子】 好きな教科(国語) 苦手な教科(算数)							
【学校での好きな活動】 作文・感想文を書くこと。				【学校での苦手な活動】			
【趣味・興味をもっていること】 (例 ピアノが弾ける, サッカーが好き, ゲームが好き, 動物が好き, パソコンが得意等) 新体操が得意。							
【教育相談関係機関等との連携について】 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 市教育相談室 <input type="checkbox"/> あすなろ <input type="checkbox"/> 医療機関 () <input type="checkbox"/> その他 ()				【家族構成・生育歴】 (わかる範囲で結構です) 母・弟3人(年中・3歳・2歳)			
担 任 教 諭	【本児に対して行った配慮・支援】 1学期後半は、学習の支援のために、家庭訪問を数回重ねたが、登校を促すと都合が悪いと途絶えた。			【中学校に期待する本児に対する配慮・支援】 中学への入学の不安は、学習の遅れで、経験不足から出来ないこともあるので、広い目で受け止めてほしい。			
	担 任 教 諭	【本児との関わりから気付いたこと】 記入者(<input checked="" type="checkbox"/> 教頭 <input type="checkbox"/> 旧担任 <input type="checkbox"/> 学年主任 <input type="checkbox"/> 養護教諭 <input type="checkbox"/> 教科担当 <input type="checkbox"/> 教育相談担当) <input type="checkbox"/> その他の記入者 ()					

校長名



【No.1】

小学6年男子①

コンサルテーションシートの一例(A4 3枚)

理解

一昨年度は41日、昨年度は44日。今年度は106日欠席で、徐々に増加しつつ推移しているのですね。欠席のきっかけは、「家庭環境の変化」で、仲の良い2歳上の姉が、本児が小4時に中学生になり離れ一人になったことで、小4時から欠席が増え始めたのですね。今年度の4月の初日は登校できていたが、その後は一学期ほぼ全休であったということですね。「登校に対する本人の意欲」は消極的で、「登校に対する保護者の意欲」は母親は消極的で、父親は積極的で、「学習への現在の意欲」は消極的なものですね。「行動や様子」は、「無気力ないし消極的」「集中が持続しない」「集団に参加しない」様子が見られるお子さんであり、「身体・成長について学校で配慮すべきこと」はぜんそくなのですね。

両親と本人、姉の4人家族。長期休暇には九州の叔母の家に泊まり、学習をした（以前は祖父がよく学習指導をしていた）のですね。学校生活での様子では、「一学期の不登校状況を母が父に報告していなかったが、通知表から父親の知るところになり、二学期は父親が積極的に本児に関わり、二学期は時々登校することがあった。登校すると違和感なく学級で過ごすことができるが、1人であることが多く、担任の近くに寄ってくることも多い。放課後は他学級の友だちと遊ぶこともできる。苦手な文章を書く活動は登校をしても、手をつけられることは稀である」のですね。その他の登校時の状況は、「放課後に登校し、担任と学習する。」のですね。好きな教科は、「理科（実験）、図工（木工作）」で、苦手な教科は、「国語・体育」なのですね。学校での好きな活動は、「体験的な活動全般」で、学校での苦手な活動は、「文章の読み書き」なのですね。趣味・興味を持っていることは、「プラモデル、パソコン、自然」なのですね。

小学校での支援

「本児に対して行った工夫や配慮・支援」は、「父の支援が大きいため、父親に協力を依頼し、登校を促す」ことや、「学級全体で手紙を書き、本人を受け入れる気持ちを伝えた」そうです。そのことによって、どのような効果が見られたでしょうか？そのことなども合わせて、2月末の小中連絡会では、本児の特性を中学校側によく理解してもらうよう報告をお願いします。

中学校での支援策

6年生の担任の先生が考える「中学校に期待する工夫や配慮・支援」は、「甘える気持ちが強く、担任と個別に学習する際には嬉しそうな顔を見せることも多い。個別に声をかけ、支援する必要がある」とのことです。

また、発達障害の項目に、チェックがありません。ですが、「苦手な文章を書くという活動」とあります。ご家庭でも学習面で放っておかれているわけではないようです。先生ご自身も学習の個別支援を試みていらっしゃるようですので、相当の努力を重ねてきているように思えます。それにも関わらず、相当の苦手意識を持つようになったことはどのように考えればよいのでしょうか。

実験、観察などを好み、「プラモデル、パソコン、自然」が好きというとのことで、手の

ご清聴ありがとうございました。

